



令和元年度 上越市P連研究大会

講演会

演題 「阿部裕二氏と『いじめ問題』について考える

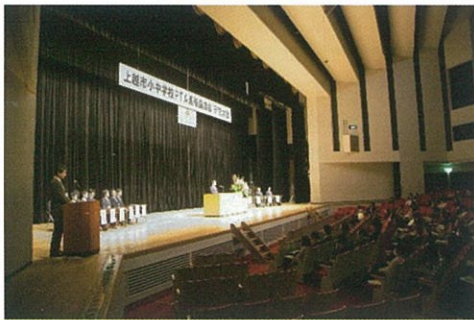
講師 阿部 裕二氏 リポーター/俳優

期日 令和元年11月23日

場所 上越文化会館

令和元年11月23日(土)に上越文化会館において、上越市P連研究大会が開催されました。板倉和太鼓クラブによる元氣な太鼓演奏のアトラクションのあと、講演会がありました。今年度は「『いじめ問題』について考える」をテーマに、「事件です!」のセリフでテレビリポーターとしてワイドショーなどでお馴染みの阿部祐二氏をお招きしての講演会となりました。

「いじめ」は子どもでも大人でもありうる身近な問題であること、それを防ぐためには日々の家族や友だちや身近な人たちとのコミュニケーションが大切であると、阿部氏ご自身の体験談を基に語って頂きました。講演のあとの質疑応答でも、さまざまな質問が挙がり、日頃皆さんが興味を持たれている講演会であると感じ、今年度も有意義な講演会となりました。



三和中学校
3年 中村 幸永

阿部祐二さんの講演を聞いて、いじめの定義について知ることができました。いじめの定義が分かると、今まで見えなかった数々のいじめが見えるようになりました。いじめの問題は「いじめについて知らないこと」なのだと思います。「いじめについて知らない」ということは、自分の周りで起こっている犯罪を認識できないということに似ています。僕の身近でも特定の生徒を馬鹿にするようなことがみられます。僕は、これを見ている傍観者の問題が一番大きいように思います。他人事のように自分で壁を作り、まるでドラマでも見ているかのようないじめという事実を受け止めようとしません。自分を含め、周りの人間が変わるべきだと思います。



阿部さんに花束を贈呈

子どもが SNS でいじめに遭いました。大事にはなりませんでしたが、ネット時代になりどこでも起きる事だと思いました。家庭が安心な場所である「あなたの一番のサポーターは家族だよ」は本当に大切だと改めて感じました。



ご臨席頂いた皆様方ありがとうございました

学校やいじめた側だけを非難しているのはいじめた側と同じことをしているだけの気がします。

会話の大事さが伝わってきた。「会話がないと悪いほうにしか行かない」との話にハッとさせられました。



阿部さんとスタッフ

「親のサポートが子どもをいじめから救う」その通りだと思いました。親が忙しかったり、家の中がうまくいっていないと子どもが孤立してしまう。安心できる環境を作ってあげることが大事だと改めて思いました。

転校すれば解決するのではなく心の傷はそれでは済まない深いものなのだと知りました。

大人になっても何時でも何処でも誰にでも起こりうるとわかりました。



板倉和太鼓クラブの雄姿



長谷川会長のあいさつ

正当性とコミュニケーションについて、自分の言葉を省みる行為をするように自分自身も気を付けなければと思います。

人と人同士で分かり合えないという部分が多くあると思います。どう伝え合うか、それを根気強く伝える行為、受け止める行為をすべきだと思います。

いじめは傷害、暴行、恐喝などの具体的な罪に当たるといことです。「いじめはやめましょう」「いじめはしてはいけない」という指導のみであり、どうしていけないか、どんな結果を生むのかを伝えるケースはあまりないように感じます。先を見通す力、相手のことを考える力が十分に育っていないように思います。

子どもだけではなく大人も一緒にどうしたらいじめがなくなるのか真剣に考えていくことが大切だと思います。

頸南ブロック
ミニ運動会
7月27日(土)



頸北ブロック
ボーリング大会
7月20日(土)



中部ブロック
競技大会(野球大会)
7月21日(日)



川東ブロック
ソフトバレーボール大会
7月6日(土)

東部ブロック
ボーリング大会
11月10日(日)



川西ブロック
球技大会(野球大会)
6月9日(日)



頸中ブロック
ソフトバレーボール大会
11月10日(日)

各ブロックの交流会の一部を紹介します。
様々な活動があります

ブロック交流会紹介



南部ブロック
球技大会(バレーボール大会)
7月20日(土)



北部ブロック
球技大会(バレーボール大会)
9月14日(土)



東頸ブロック
ソフトバレーボール大会
6月22日(土)

第59回新潟県小中学校PTA研究大会 十日町津南大会に参加しました

大湊小学校 PTA 副会長 榊 美華子
和田小学校 PTA 副会長 牧野 友香



第59回新潟県小中学校PTA研究大会十日町津南大会が、令和元年9月28日(土)に行われました。津南の皆様の温かいおもてなしのもと、開会式が行われました。今回のテーマは「共生」妻有の大地に生きるくふるさとが創り出す子どもたちの未来」でした。子どもたちがふるさと「妻有」の地を愛し、互いのよさを認め合い、共に支え合って成長していくことを願ったものです。そのため土壌を形成する実践を提案発表していただきました。

新潟県小中学校PTA連合会の板倉会長あいさつから始まり、アトラクションで津南町立芦ヶ崎小学校児童による龍神太鼓の披露がありました。25年の歴史がある龍神太鼓の伝統に誇りをもち、16名が心をひとつにしたすばらしい演奏でした。十日町ジュニアアンサンブル&十日町立中里中学校、十日町立松代中学校合同編成の吹奏楽部は、すばらしい大迫力の演奏でした。



たくさんさんの活動紹介があった中で一番印象に残ったのが、講師の栗栖良依さんのお話でした。テーマが「日常における非日常」でした。異文化の人や地域をつなげ、新しい価値を創造するプロジェクトを多方面で展開され、2008年より過疎化の進む地域で市民参加型のパフォーマンスを障がいのある人たちと作り上げ、たくさんの人たちに披露して、第65回横浜文化賞を受賞しました。たとえ障がいがあったとしても、夢をあきらめない気持ちで取り組んできたお話を聞いて、私も子どもたちに、何事もあきらめないで前に進む気持ちを育てるよう、これからも応援していきたいと思えました。

この全体会を通して、人と人との共生、人と自然との共生、人と地域との共生を大切に、とても温かいつながる活動をしていると感じ、楽しくすてきなひとときを過ごすことができました。



編集後記

11月に行われた市P連研究大会では、阿部祐二氏と「いじめ問題」について考えるという演題で講演会がありました。改めて子どもたちとの会話の大切さを知る事ができた素晴らしい大会になりました。

市P連PRESS第30号の発行にあたり寄稿して頂いた皆様、役員の皆様、1年間ありがとうございました。

広報委員会 副委員長 横尾 孝英(諏訪小学校)

発行 上越市小中学校PTA連絡協議会

編集 広報委員会

委員長	見波 純	(宮嶋小学校)
副委員長	横尾 孝英	(諏訪小学校)
委員	牧野 友香	(和田小学校)
	熊田 僚己	(附属中学校)
	内藤 和春	(東本町小学校)
	小林 和人	(北諏訪小学校)
	小林 智久	(直江津中学校)
	小松 竜二	(安塚小学校)
	岡村 和人	(吉川小学校)
	榊 美華子	(大湊小学校)
本部担当	梅澤 朋裕	(美守小学校)

問合せ 事務局

TEL 025-545-9203 FAX 025-545-9208

E-mail jyou-pta@joetsu.ne.jp

ホームページ URL <http://www.j-shipren.org>